

私たちの道

MCWAYを感じる

自分と社会の変化、SDGs・ESG 的視点について

1. 直近1年の自分の変化（環境、意識）

● 転職、MC への入社

- ・ 前職の社労士事務所では、目の前の業務をこなすことで精一杯
成長できた側面もあるが、物事を俯瞰的・中長期的に考えることができなかった
 - ・ 「すべての人が働きやすい環境づくり」に携わる社労士になりたいはず → 転職を意識
 - ・ 不安はあったが、ありたい姿をイメージすることがよい結果に繋がった気がする
- 「よい環境」が、5年後、10年後も同じようによいものであるとは限らない（環境そのものの変化、自分や周囲の人の生活・価値観の変化）。よい環境とは何か、常に自分に問いかけていく必要がある

● 新型コロナウイルス流行による生活、意識の変化

- ・ 日々の生活（環境）が変化すれば、ビジネス（生活に必要とされるモノ、サービス）も変化する
 - ・ 当たり前が当たり前でなくなる
 - ・ 100人いれば100通りの不安がある（感染リスク×仕事×家族・・・）、正解はない
 - ・ 社会的弱者が真っ先に影響を受ける、決して自己責任の問題だけではない
- 本当に必要なもの、大切にすべきものは何か 人々の価値観（労働観、人生観）の変化

2. SDGs・ESG 経営の重要性

● 社会は既に変化し、多様化している 企業は、そこで働く個人はどうあるべきなのか

→これまでの社会的規範から、SDGs・ESG 的視点へのシフト

● 理想や配慮だけではビジネスは立ち行かないが、理想がなければすぐに止まってしまうし、配慮がなければ人は離れて行ってしまふ

→だからこそ、SDGs・ESG 的視点を重視すべき

● お客様やステークホルダーと大きなビジョンを共有し、専門知識をブラッシュアップするとともに、「人の心」も意識しながら、業務に反映していく